

派遣報告書（報告者：穴井 捺雄）

大会名	U15 バスケットボール選手権大会（ジュニアウインターカップ）
開催地	京王アリーナ TOKYO (東京都調布市)
日 時	令和 8 年 1 月 4 日～6 日
担当ゲーム 1	(男子 1 回戦) Club Peace of Mind(埼玉県) vs ライジングゼファー福岡 U15(福岡県)
クルー	CC:東條 輝正(本部 S) U1:堀川 和宏(福井県) U2:穴井 捺雄
Pre-Game Conference	
<ul style="list-style-type: none">●メカニクスの確認●タイマー管理●アングルをもっているレフリーが準備をしておく	
Post-Game Conference（クルーミーティング）	
<ul style="list-style-type: none">●プルアップシュートの接触をセンターが見にいけるとよかった。●各自が自分のプライマリで笛を入れることができていた。●見せ方（レポート等）や走る姿で説得力が変わってくるので、まずはそこからやっていく必要がある。	
担当ゲーム 2	(男子 2 回戦) 千葉ジェッツ U15(千葉県) vs 佐賀バルナーズ U15(佐賀県)
クルー	CC:丹羽 法明(東京 A) U1:上田 侑平(高知県) U2:穴井 捺雄
Pre-Game Conference	
<ul style="list-style-type: none">●メカニクスの確認●スイッチを早めにする	
Post-Game Conference（IR:秀島 充彦（佐賀 A））	
<ul style="list-style-type: none">●3 人でしっかり試合をリードしていた。●自分が吹いた判定について、映像でもう一度確認したほうがよい。●速攻の止め方で UF に該当するものがなかったか。	
担当ゲーム 3	(女子 3 回戦) 岡山市立竜操中学校(岡山県) vs ボンズ茨城(茨城県)
クルー	CC:中江 洋美(本部 S) U1:原添 さやか（東京都） U2:穴井 捺雄
Pre-Game Conference	
<ul style="list-style-type: none">●はじめてのクルーなので助け合いながらする●両チームの Key Player の確認●明らかなトラベリングは見逃さない	
Post-Game Conference（クルーミーティング）	
<ul style="list-style-type: none">●笛とジェスチャーの間をとると差し違えがなくなるので、上手な間の取り方を勉強するべきである。●リバウンドやカット後の保持をいつしたかの確認をもっとするべきであった。	

今大会に参加しての感想など

初めての全国大会に行かせていただきました。この Jr.ウインターカップは中体連や町クラブ、B ユースと普段公式戦を行うことが少ないチーム同士が対戦し、各県で勝ち上がった代表のチームが集まった大会です。レベルの高いゲームを 3 試合吹かせていただき、今の自分は走る姿やプレゼンテーション能力を磨いていく必要があると感じました。県外の上級審判の方と吹いてみて、見た目から違い安心感のあるレフリングをされていて、そこに差を感じました。割当はありませんでしたが、1 月 7 日の男女準決勝を観戦しに会場に行きました。上級審判の方々の走る姿やプレゼンテーション能力は光るものがあり、アイコンタクトやハンドサインなども多用し、TO をしている中学生も安心して職務を全うしているように見て取れました。そして、見ている方や一緒にゲームをつくる TO さんに安心して職務を全うさせられるレフリーになりたいと思うようになりました。この経験を県内にも還元できるよう一層努力していきたいです。

今回の派遣に当たり、家族、職場、大分県バスケットボール協会や審判委員会の皆様、今大会の運営に関わったすべての皆様に心より感謝を申し上げ、報告とさせていただきます。本当にありがとうございました。